

教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
2【かかわる】	⑨【仲間や地域の人々とのつながり】 地域や被災地の施設を訪問し、被災地の人々との共感的な理解を図り、思いやりの気持ちをもって、共に支え合いながら生きていこうとする態度を養う。	教科（生活）

**【題材】**

- 遠足（生活科体験学習）

**【対象】**

小久慈小学校 2年生

**【実践の概要・詳細】**

## 〔概要〕

久慈地方で最も被災が大きかった野田村を訪問し、その地域の様子やそこに住んでいる方々の話を聞き、震災について考えさせる。

## 〔詳細〕

平成25年9月2日（月）～9月5日（木）に、久慈市に隣接している野田村が震災の被害にあったことを思い出させ、そこへ遠足に行く計画を立てる。

平成25年9月6日（金）に震災の被害にあった野田村が現在どのような状況になっているかを見学し、児童に復興が進んでいることを感じさせたり考えさせたりする。

野田村への交通手段は、現在復旧開通している三陸鉄道を久慈駅から陸中野田駅まで利用させ、交通機関も復興が進んでいることや三陸鉄道から見た周りの様子にも気を付けさせ、震災後の復興の様子を感じさせる。

現地では、津波で流された図書館や町並みを見学させることを通して、ここまで復興するまでにどんな思い、どんな苦労があったか、またどんな喜びがあったか等を感じさせたり考えさせたりする。

三陸鉄道での移動の様子



野田村の図書館での様子



## 【授業の展開】

平成25年9月6日（金）遠足当日

○学校から久慈駅までバスで移動。

10:20 三陸鉄道乗車（久慈駅発）

10:34 三陸鉄道降車（陸中野田駅）

10:40 陸中野田駅発 途中仮設店舗通りを見学しながら徒歩で移動する。

11:10 野田村生涯学習センター着

11:15 図書ボランティア「あっぷっぷ」による読み聞かせ

- ・野田村出身の方が書いた三鉄の絵本に関わる歌や手あそび歌。
- ・絵本「うんちっち」の読み聞かせ、くじらの紙芝居。

\*児童は、図書の楽しさ、図書への興味関心をもつことができた。

12:00 図書館についてのお話

- ・被災当時の状況を写真を提示しながらの話（車が家等に突っ込んでいたことや、街中が泥だらけになったこと等）
- ・現在の図書は全国から届けられたことの紹介

\*児童は、震災当時の写真を見て、そのときの大変さや現在このように復興してよかったという思いを感じ取ることができた。

\*児童は、その後、神社散策をしながら、高台から町並みの様子を見て、図書館での話と関連付けながら、復興していることを感じたり、考えたりすることができた。

○昼食後、三陸鉄道、バスを利用して学校にもどる。



### <児童の感想>

- ・野田村の図書館は、一度流されたけど、もう一度頑張るぞという気持ちが伝わってきた。誰が来ても笑顔で明るい声であいさつしたということでもますます、頑張るぞという気持ちが伝わってきた。
- ・津波の時は、愛宕神社にたくさんの人たちが集まった。高い所にあるから、野田村の多くの命が救われた。

### <まとめ>

- ・野田村の図書館見学を通して、津波で本が流されてしまったことや全国からの援助や支援により、多くの人々の力で図書館が再生したことを知ることができた。
- ・図書館の話などを通して、震災に遭った人たちの悲しみや苦労、震災後も多くの人が支え合って生活していることを感じることもできた。